

平成 30 年度「埼玉県警察女性職員の活躍推進及び職員のための子育てサポート推進プログラム」実施状況（概要）

1 推進目標に対する取組状況

(1) 全警察官に占める女性警察官の割合

平成 31 年 4 月 1 日現在で 10.9%（前年比 + 0.4Pt）であり、令和 5 年 4 月 1 日までに 12% とすることを目標に、積極的な採用に取り組んでいます。

(2) 育児関連休暇の取得率

出産補助休暇の取得率（対象者全体に対する取得者の割合。以下同じ。）は 91.7%（平成 27 年比 + 7.1Pt）、育児参加休暇の取得率は 37.8%（平成 27 年比 + 19.7Pt）、子育て休暇の取得率は 49.6%（平成 27 年比 + 20.1Pt）であり、それぞれ増加しています。

(3) 職員一人当たりの年次休暇の平均取得日数

職員一人当たりの平均取得日数は年間を通じて 9.5 日（前年比 - 0.3 日）であり、昨年より僅かに減少しています。

2 具体的な内容

(1) 女性職員の積極的な採用

女性警察官募集ガイドの配布や SNS「ツイッター」「ライン」「フェイスブック」をタイムリーに活用するほか、女性限定のインターシップを初開催するなど採用募集活動を積極的に行い、平成 30 年度中に女性警察官 111 人（ 類 56 人、 類 12 人、 類 41 人、国際捜査 類 1 人、武道・体育指導 類 1 人）を採用しました。

女性限定就職説明会の対象者の枠をまだ受験資格のない高校生まで拡大したほか、「ワークライフバランス」「仕事と育児の両立」等をテーマとした女性警察官募集ガイド「me + P」を新規作成して、女性警察官の魅力を発信しました。

再採用制度の周知を図り、出産、育児等の理由で退職した女性警察官の再採用選考により元女性警察官一人（46 歳 巡査）を再採用しました。

(2) 女性職員の登用の拡大

女性の登用を進め、警部級以上の幹部は自動車警ら隊長、大宮警察署副署長、警察署刑事課長代理等の要職で活躍しています。

育児休業から復帰した者に対する職場復帰支援のための人事措置を実施することにより、女性職員のキャリア形成の支援を行いました。

昇任意欲の向上等を目的とする研修会を開催し、直近上位階級の職員との意見交換等を実施し、幹部登用のための人材育成を行いました。

(3) 女性職員が働きやすい職場環境づくり

新たに交番の女性用仮眠室 4 か所、女性用トイレ 3 か所を整備するなど、女性用施設の充実を図りました。

女性職員専用の相談窓口を運用し、仕事と子育ての両立などについての悩み事に対応

するとともに、把握した意見を施策に反映させました。

ハラスメント防止を目的とした教養等を積極的に実施し、ハラスメントを許さない職場環境づくりに努めました。

(4) ワークライフバランスの推進

ワークライフバランスに関する効果的な取組を積極的に紹介し、働き方改革に関する取組を促進しました。

各種幹部会議において、休暇を取りやすい環境づくりや多様な働き方について指示し、幹部への意識付けを行いました。

時間外勤務縮減のため、各部署の実状に応じた助言指導を行い、長時間勤務の是正を推進しました。

男性の子育て参画を促進するため、各研修や講習等で男性の子育て関連休暇についての制度について広く周知しました。

(5) 仕事と子育て等との両立支援

配偶者の妊娠が判明した男性職員に「子育て計画書」を作成させ、男性職員の子育てへの参画を促進したほか、上司から休暇の取得を呼び掛ける等により、子育て関連休暇の計画的な取得を促進しました。

子育てに必要な知識技能を盛り込んだ「男性職員のための子育てガイド」を作成し、子が出生予定の男性職員に対し配布して育児のスキルアップを促進しました。

「男性向け子育て研修」を開催し、男性職員の子育て参画を促進しました。

育児休業復帰者を対象とした職場復帰支援研修会を実施し、復帰時における不安点の解消や要望等の把握を行うとともに、その上司も研修会に参加させ、子育て中の職員への配慮等について意識付けを行いました。

人事異動に当たって、仕事と子育ての両立がしやすいよう通勤方法や通勤時間に配慮した職場に配置するなど、可能な範囲で子育て状況に応じた人事上の配慮を行いました。

介護セミナーを開催し、介護保険制度の基礎知識や介助の実技等を紹介して、職員の介護に対する理解を深めました。

(6) その他

免許更新窓口等の案内表示を大型化するなど、窓口環境の改善に取り組みました。

地域の少年の健全育成の目的で、小・中学生を対象とした少年柔道剣道教室の開催及び「ひまわり少年クラブ」による福祉施設訪問等の社会参加活動を推進するとともに、小・中学校と連携した非行防止教室を開催することにより、規範意識等の醸成を図りました。

小学校の各種行事に赴き、派遣型交通安全教育の実施や子ども自転車運転免許制度の推進等、交通安全意識の向上を図りました。

地域のサッカーチームの協力のもと、中学生に対し、非行防止教室やサッカーの実技指導等を行い、非行防止を目的とした地域貢献活動に取り組みました。

年間を通じて小・中学生に対する警察本部見学を実施するとともに、家族参加型のレクリエーション等を開催し、職員が子供とふれあう機会を充実させました。